

# CAMPUS AND FACILITIES



## ① ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



## ② スポーツパフォーマンス研究センター

スポーツ現場の実践知を科学的エビデンスとして創出し、活動現場へ還元する「スポーツパフォーマンス研究」を推進するための国内初の最先端研究設備を備えた屋内研究施設（詳細は35頁）



## ③ 合宿研修所

本学学生の合宿研修及び本学の主催する講習会、研修会等に参加する外来者の合宿研修に使用する施設で、講師宿泊室5室、洋室(ベッド数8)9室、和室(15畳、6名収容)6室、があり、計113名が宿泊可能です。その他に、研修室(50名、20名)を2室設置しています。



## ④ 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



## ⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトレーニング機器等が設置されています。



## ⑥ サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面天然芝張で照明設備も設置されています。

学生宿舎 (19頁参照)



## ⑦ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



## ⑧ 附属図書館

附属図書館は、1階に受付カウンター、開架閲覧室、NIFSラコモ(自学自習の場)、2階に開架閲覧室、グループ学習室などを設置しています。一般市民の方々も利用可能です(詳細は36頁)。



## ⑨ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設です(詳細は34頁)。



## ⑩ 総合体育館(主体育館/1F)

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育室は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保できます。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



## ⑩ 総合体育館(体操練習室/2F)

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



## ⑪ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール(バスケットボール)、バドミントン、卓球の専用室があります。



## ⑫ 屋内実験プール

泳ぎについて科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25mの短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールです(詳細は34頁)。



## ⑬ テニスコート

全面ハードコートで照明設備も設置されています。



## 屋内実験プール

単に水泳競技用に使用するだけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技や50m長水路のプール(8コース)、25m短水路のプール(8コース)のほか、実験研究用コース(3コース:ミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、飛び込み台(5m、3m、1m)、可動式床(水深0m~2m調整可)、水泳フォームをあらゆる角度から分析できる加減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。水温は適温に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



柔道場



剣道場

## 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設。1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。

- 柔道場** 公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウェイトトレーニング用機器常置)も設置されています。
- 剣道場** 公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。
- 相撲場** 武道館1階に設置されています。
- 弓道場** 武道館に隣接しており、6人立ちが可能となっています。



相撲場



弓道場



## スポーツパフォーマンス研究センター



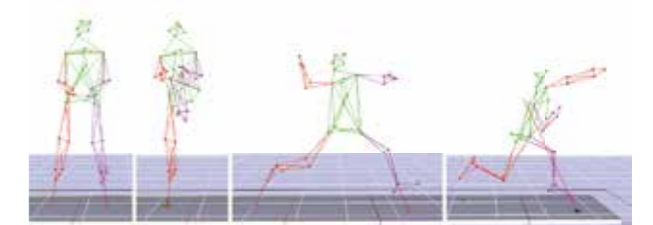
(図1) フォースプレート  
走行直線にフォースプレートを54枚設置(スタート地点を含む)  
歩行や走行などの動作を行う際の地面反力を測定できる機器



(図2) フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス  
フォースプレート完備のピッチャーマウンド・バッターボックスで、投手と打者の同時測定が可能(写真はマウンド)

スポーツパフォーマンス研究センターは、国内初の最先端スポーツ科学研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。スポーツ現場のコツやカンといった『実践知』を科学的エビデンスとして創出・還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するため2018年に設置されました。屋内スポーツ実験室には主要設備として、世界最長の50mフォースプレート(図1)、フォースプレート一体型マウンドおよびバッターボックス(図2)、モーションキャプチャシステム(図3)、オブジェクトトラッキングシステム(図4)、ハイスピードカメラ、球質測定システム等の最新の測定機器に加え、可動式カメラ架台、大型モニター2台が設置されています。

スポーツ実験室は約3,500㎡(70m×50m)の広さで、高さ15m、床は人工芝と陸上用のウレタン走路(屋内70m、屋外40m)の最長110mで構成されており、屋外(屋根付き)にはテニスコートが一面併設されています。施設内では、陸上、テニス等の個人種目に限らず野球やサッカー等のチーム種目におけるゲームパフォーマンス分析など多様なスポーツパフォーマンス測定を実施することが可能です。



(図3) モーションキャプチャシステム:  
反射マーカの三次元位置情報をデジタルデータとして取得できる機器



(図4) オブジェクトトラッキングシステム:選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、身体の向き、心拍数などの情報を無線方式でリアルタイムに測定可能な機器

## 附属図書館 Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室、NIFSラコモもあり、タブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自修の場としても活用できます。



■附属図書館ホームページ  
<http://www.lib.nifs-k.ac.jp>



## スポーツトレーニング教育研究センター

Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や教育を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



## 国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

国際交流センターでは、「スポーツ・異文化理解・語学の3本柱を有機的に結びつけた事業を通して、本学のグローバル化を推進する」というビジョンに基づき、よりよい語学教育カリキュラムの開発・実施、海外の交流協定締結校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣、米国ハワイ及びオーストラリアシドニーへの海外短期研修プログラム、スポーツ・武道を通じた国際交流活動、留学生と日本人学生の交流活動などを行なっています。

■国際交流センター Facebook  
<https://www.facebook.com/IELEC.NIFS>



## スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

キャンパスネットワークやコンピュータシステム、情報セキュリティなど学内のICTに関わる管理・運用とその研究、スポーツにおけるICT活用の支援と研究、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学研究機器の貸出や技術支援などを行っています。

## 海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する実践的指導者の養成、競技力向上(ヨット、ウィンドサーフィン、カヌースプリント、ボート等)、生涯スポーツ(セーリング、SUP、シーカヤック、スキndaイビング、磯遊び等)の展開といったテーマのもと、理論教育・実践指導・研究活動に取り組んでいます。また、公開講座の開催や関連団体のセンター活用など、施設開放も実施し、学外の海洋スポーツ関係者・団体との交流・研修も行っています。海洋スポーツ各事業・活動・研究成果などの情報を学内外に発信することによって幅広く、海洋スポーツの普及・振興に努めています。



## 生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの開発支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育・研究を行っています。

